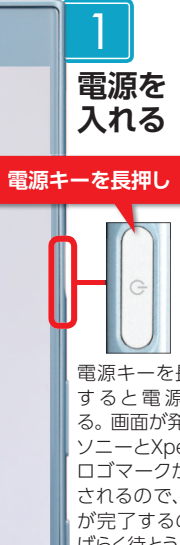


2 電源を切る



電源を切る場合も同様に電源キーを長押しする。このメニューが表示されたら、最上部の「電源を切る」をタップしよう。

1 電源を入れる



電源キーを長押しすると電源が入る。画面が発光し、ソニーとXperiaのロゴマークが表示されるので、起動が完了するのをしばらく待とう。

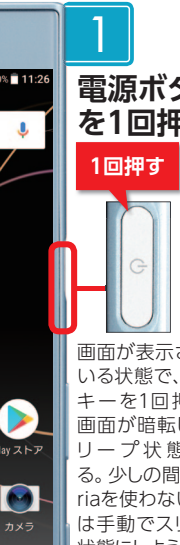
XZs Premium Technique
電源をオン・オフする

2 スワイプしてロックを解除する



スリープからロックを解除するには、まず電源キーを押し、ロック画面を表示する。鍵のアイコンを上へスワイプするか、画面を下から上へスワイプするとロックを解除できる。

1 電源ボタンを1回押す



画面が表示されている状態で、電源キーを1回押すと画面が暗転し、スリープ状態になる。少しの間、Xperiaを使わないときは手でスリープ状態にしよう。

XZs Premium Technique
スリープ状態にする

2 充電が始まる



画面右上の電源のアイコンに稲妻のマークが表示されれば充電されている。ロック画面の下部には「充電中」と表示される。

1 充電ケーブルを装着する



充電用のUSBケーブルを挿し込む。USB Type-Cなのでコネクタの上下の向きを気にせず挿し込める。

XZs Premium Technique
Xperiaを充電する

Xperia XZs本体各部の名称

SIM/micro SDカード挿入口

契約者情報が記録されたSIMカードと端末内のデータを記録できるmicroSDカードはここに装着する。

ヘッドセット接続口

ヘッドフォンやヘッドセットなどの音響機器を接続できる。

メインカメラ

1920万画素の背面カメラ。レンズ下部には暗所で高速AFを可能にする「レーザーAFセンサー」、光源を正確に認識する「RGBC-IRセンサー」を搭載。

NFC/おサイフケータイかざし位置

NFCとおサイフケータイを利用する際は、この部分を読み取り機にかざす。

フロントカメラ

1320万画素の内側カメラ。セルフィー（自分撮り）を行う際などに利用する。

USB Type-C 接続端子

充電やパソコンの同期などを行えるmicroUSBケーブルをここに装着する。

スピーカー／受話口

迫力あるステレオサウンドを再生するスピーカーを前面に配置。通話時にはマイクの役割を果たす。

電源キー／指紋センサー

長押しで電源のオン／オフ、短押しで画面表示のオン／オフを切り替えられる。指紋センサーを内蔵しており、触れることでロック解除などを行える。

音量／ズームキー

上下のボタンで音量を調整できる。カメラ使用時はズームを調整可能。

カメラキー

カメラ利用時にシャッターボタンになる。画面非点灯時に長押しすると、カメラを直接起動できる。

右側面にボタン類を集約したシンプルな設計

Androidのスマートフォンは、物理的なボタンを最小限しか搭載しておらず、ほとんどの操作をタッチパネルに指先で触れて行う。Xperiaもそれに準じた仕様になっており、右側面に電源／音量／カメラのボタンのみを搭載するシンプルな設計を採用している。

ほかのモデルとやや異なるのは、電源キーに指紋センサーを内蔵している点。あらかじめ指紋を登録しておけば、右側面のこのボタンに軽く触れるだけで、画面ロックを解除できる。また、カメラキーを備えているのも、カメラにこだわっているXperiaならではのシャッターボタンとして利用するだけでなく、長押しして瞬時にカメラを起動できるようにになっている。本体各部の役割を把握し、基本的な操作方法をマスターしよう。

案内に従って初期設定を行う



初回起動時にはこの画面が表示される。設定する言語が「日本語」になっていることを確認して、「開始する」をタップ。



以前使っていた端末から設定などのデータをXperiaにコピーできる。ここでは「新規としてセットアップ」をタップ。



まずWi-Fiの設定を行う。周囲のアクセスポイントの名称 (SSID) が表示されるので、自宅のWi-FiルーターのSSIDをタップしよう。



SSIDを選択したら、パスワードを入力して、「接続」をタップする。

初めて起動したら必ず行う必要がある

Xperiaを初めて起動すると、初期設定画面が表示される。まずはここで基本的な設定を行い、Xperiaを利用するための準備を整えよう。

初期設定時にはGoogleアカウントを登録する。すでに取得している場合は、メールアドレスとパスワードを入力して登録しよう。アカウントを持っていない場合は、新規で取得することも可能だ。また、初期設定では有料コンテンツの決済方法や、画面ロックの仕方なども設定できる。これらはあとからでも設定できるが、この段階で設定しておいてもいいだろう。

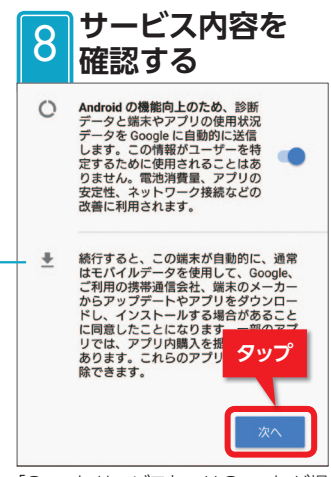
キャリアによっては、最後にホーム画面のスタイルを選択できる場合がある。キャリア独自のものでもほぼ同様に操作できるが、ここでは「Xperiaホーム」を選択する。



Googleアカウントを追加する。メールアドレスを入力して、「次へ」をタップ。



次画面ではGoogleアカウントのパスワードを入力する。「次へ」をタップすると次のステップに進む。



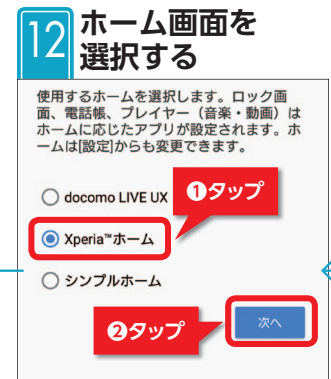
「Googleサービス」ではGoogleが提供するサービスについての解説を参照できる。内容を確認したら、最下部の「次へ」をタップしよう。



次に、Googleアプリのサポートを設定する。「続行」をタップし、次の画面で「有効にする」をタップ。



「次へ」をタップし、Xperiaの使用状況に応じて機種を使い方などを教えてくれる「Xperiaインテリジェンスエンジン」を設定する。



利用するホーム画面を選択する。初期状態では「docomo LIVE UX」になっているが、ここでは「Xperiaホーム」を選択して「次へ」をタップ。次に、キャリアサービスの設定画面が表示される。画面の説明を読んで設定を進めよう。



利用規約とプライバシーポリシーを確認して、「同意する」をタップする。次に、指紋によるロック解除を設定する画面が表示されるが、ここでは「スキップ」をタップ。



「Xperiaサービス」の設定画面が表示される。ここでは、「後で行う」をタップ。次に表示される画面では「スキップ」をタップする。



初期設定が完了すると、この画面が表示される。「終了」をタップして、Xperiaを使い始めよう。

基本編 1 まずはここから！必ずマスターしたいXperiaの基本操作

キーボードの基本操作

記号・顔文字・絵文字

記号キーをタップすると、「記号」のほか、「顔文字」や「絵文字」を入力できる。上部のタブでいずれかを選択しよう。



かな入力モード



ツール

マイクのアイコンをタップすると音声入力が可能。そのほか、片手キーボードへの切り替え、キーボードレイアウトの変更、使い方のガイドを参照できる「かんたんメニュー」の表示などを行える。

入力した文字を削除する際にここをタップする。

カーソルを右に移動。左側の「←」をタップすると左に移動できる。

スペースを空けたいときにタップする。

改行するときにタップする。文字を入力中は「確定」に、検索窓に入力中は虫眼鏡のアイコンに切り替わる。

英字入力モード

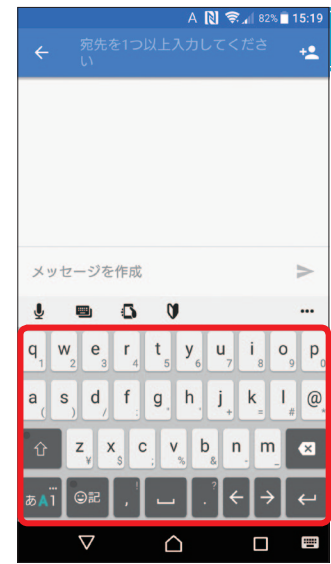
左下の「あA1」をタップすると「英字キー」に切り替わり、アルファベットを入力できる。

数字入力モード

さらに「あA1」をタップすると「数字キー」に切り替わる。数字やコロン、スラッシュなどの記号を入力できる。



PCキーに切り替わる



英字入力モードに切り替えると、デンキーではなくPCキーが表示される。

「PCキー」を選択する



英字はPC用のキーボードのほうが打ちやすいという人もいよう。PCキーに切り替えるには、ツールのなかからキーボードのアイコンをタップ。メニューで「英字」を「PCキー」に切り替え、「OK」をタップする。

PCキーを使う

タッチパネルの基本操作

ロングタップ



指を画面に触れたままにすると、別の画面やメニューなどが表示される。

ダブルタップ



画面を2回続けてトントンと叩く。画面の拡大・縮小などを行える。

タップ



画面を指で1回叩く操作。アプリを起動したり、メニューを選択したりする際に用いるタッチ操作の基本。

ピンチイン／ピンチアウト



2本指でつまむ操作をピンチイン、開く操作をピンチアウトと呼ぶ。地図や写真の拡大・縮小を行える。

ドラッグ



アプリのアイコンやウィジェットなどを押さえたまま動かせる。アイコンやウィジェットの配置を変える際に利用する。

スワイプ



指で画面を素早くはらう操作。写真をスピーディに閲覧する際に用いる。

独自キーボードも使いこなそう

Xperiaの各種操作のほとんどは、画面に指で触れるタッチ操作となる。タップやダブルタップ、スワイプをはじめとするタッチ操作は、頻繁に行うことになるので、ここで使い方を覚えておこう。また、地図や写真などを拡大・縮小する際に便利な、ピンチイン／ピンチアウトもマスターしよう。

従来型のケータイと異なり、物理的なデンキーを備えていないスマホでは、文字入力を画面に表示されるソフトウェアキーボードで行う。Xperiaには、「POBox Plus」というソニーモバイル製の日本語入力システム（IME）が搭載されており、入力のしやすさを追求した独自のキーボードで文字を入力できる。日常的に使う機会が多いキーボードの基本操作も正しく把握しておこう。



2 「壁紙」をタップする

この画面が表示されたら、「壁紙」をタップする。なお、ホーム画面とロック画面の壁紙を一括で変更したい場合は「テーマ」を選択しよう。



1 ホーム画面をロングタップする

壁紙を変更するにはまず、ホーム画面の何も配置していない箇所をロングタップする。



4 壁紙が変更された

手順3でホーム画面をタップすると、設定が反映され、選択した壁紙に切り替わる。



3 壁紙を選択する

下部に壁紙の一覧が表示されるので、任意の壁紙を選択しよう。手持ちの写真を選択したい場合は「アルバム」から選択する。動く壁紙にしたい場合は「ライブ壁紙」を選ぼう。



2 上部にドラッグする

上部の「ホーム画面から削除」までドラッグすると、そのウィジェットを削除できる。



1 ウィジェットをロングタップする

ホーム画面で不要なウィジェットをロングタップすると、動かせる状態になる。

お気に入りの壁紙に変更する

不要なウィジェットを削除

Xperia XZs/XZ Premiumの画面構成

通知パネル

ステータスバーを下にスワイプすると、「通知パネル」を表示可能。ここで通知の詳細を確認できる。各通知をタップすると、次のアクションを行える。



クイック設定ツール

通知パネルを下にスワイプすると、各種機能の設定を素早く切り替えるための画面が表示される。



ステータスバー

Xperiaの設定状況や新着通知などを確認できる領域。右側には、電波の状態やバッテリー残量、時刻が、左側には新着メールや不在着信などの各種通知が表示される。

アプリ検索

画面中央部の何も置いていない場所を下にスワイプすると、アプリ検索画面が開く。アプリ名を検索欄に入力して素早く起動できる。



アイコン

タップすると、アプリが起動する。アプリを起動するためのショートカットの役割を果たす。

アプリ一覧

「アプリ」をタップすると、Xperiaにインストールされているアプリの一覧を開ける。



ページ表示

どのページを表示しているかを示す。ホーム画面を左右にスワイプすると、ページが切り替わる。

ウィジェット

Androidではホーム画面上で動作するミニアプリ「ウィジェット」が利用できる。アプリを起動せずに、ホーム画面からダイレクトに検索などを行える。

ドックメニュー

ページを切り替えても、ここに収められているアプリだけは常に表示される。電話やメールなど多用するアプリを配置しよう。

さまざまな便利機能を備えるホーム画面

Xperiaを利用する際に、必ず目にするようになるのが「ホーム画面」だ。ここにはアプリのアイコンや、各種機能を実行できる「ウィジェット」などが配置されている。また、上部には、端末の状態を確認できる「ステータスバー」が配置されるほか、通知の詳細を確認できる「通知パネル」や、各種機能の設定を素早く切り替えられる「クイック設定ツール」も利用できる。Xperiaをより快適に使いこなすうえでは、欠かせない機能なので、その役割と使い方を覚えておこう。

ホーム画面は毎日目にするものだからこそ、自分好みの仕様にしておきたい。お気に入りの壁紙に変更する方法や、ほとんど使わずにそのままになっているウィジェットを削除する方法も合わせて覚えておこう。